

## 事業主体

東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構

## 調査研究名

南相馬市の農家民宿の魅力を伝える映像制作プロジェクト

## 調査研究の概要

南相馬市の農家民宿の魅力を、県内外の人に効果的に伝えるための創作活動を実施。農家民宿のオーナー、宿泊者にインタビューを実施。学生も実際に宿泊し、若者視点で気付きを整理した。外国宿泊者もあり、外国人の視点も探った。

## 実施内容

第1回訪問 宿泊先は「いちばん星」。ほかに「翠の里」「塔前の家」にも訪問。2日目に藍染め体験をし、「森のふるさと」のオーナーにも取材をした。

第2回訪問 動画作成を経て再度取材。「翠の里」「いちばん星」を訪問。両方で上映会を実施。オーナーから率直なフィードバックをいただく。「翠の里」の上映会ではカナダ人で和歌山大学観光学部准教授に動画に対する有益なアドバイスと感想をいただいた。

## 調査研究期間

令和元9月1日～令和2年3月31日

## 南相馬市の課題

調査研究により

ボランティアの再訪問件数が減っている中、今後どのように農家民宿を継続していけば採算に合う運営ができるのか。

オーナーさんの高齢化も進んでいる中、どのような選択と集中を実現させることで、持続可能で満足度も高い農家民宿運営ができるのか。

という状況が判明し、南相馬市の課題が明確になった。

## 課題解決の提言

課題解決のためには、以下のような取り組みが必要とされる。

各オーナーの想いやアイデアをお互いに理解し、共有すること。第三者を交え、民宿の未来を語り合うこと。

消極的な姿勢ではなく、若い世代を交え民宿の未来を語り合うようなイベントを継続的に企画する。みなみそま復興大学の支援事業を活用して訪問する大学生と語りあう場を設けることで、農家民宿の活性化につながるはずである。